

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年11月13日	2tトラック、2tダンプ 連絡車 ミキサー車	スコップ、レーキ、熊手、一輪車	ヘルメット、安全靴、安全チョッキ、 マスク、しらすんだー受信機	丁張材、地先ブロック、普通コンクリート(C1-1)
改訂日	令和6年11月13日				
作成者	小財				
必要資格等	【運転免許】普通、準中型、中型			作業人員	5名
備考				その他	

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が			対策後			参考図(写真等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価			
準備工		作業前ミーティング												
	1	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	4	5	20	体調の確認、アルコールチェックを行い、不調者は休ませる。	全員	1	1	1			
	2	服装、保護具の点検をする	保護具を忘れてしまい、ケガに繋がる	3	4	12	確認時に保護具の数量不足が無いようにする。	全員	1	1	1			
	3	機械・工具等の点検をする	機械工具使用時の故障によるケガ	3	4	12	作業前点検を行い、不備があるものについては取替える	全員	1	2	2			
	4	朝礼、KYミーティングを行う	注意事項を聞き落とし現場で事故を起こす	3	4	12	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1			
	5	作業手順の確認をする	手順が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	5	15	作業内容、作業手順を確認し役割を明確にする。	全員	1	2	2			
	6	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2			
	7	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤ、敷板の落下	4	4	16	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2			
移動		現場への移動												
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	5	15	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	5	5			
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1			
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	5	15	保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	5	5			
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	3	9	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	0	0			
	5	規制内での移動	車両同士、または作業員との接触	4	5	20	車両移動は周囲の安全を十分に確認する	運転手	1	5	5			
			後退時、誘導員との接触	4	5	20	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	5	5			
本作業														
	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	2	2	4	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2			
	2	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	3	5	15	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	2	2			
	3	試掘工	ケーブルの損傷	4	5	20	立会者、探査機等で埋設位置、深さの確認を確実にを行う	全員	2	5	10			
			ケーブルの損傷	4	5	20	適切な工具を使用しての試掘を行う	全員	2	5	10			
	4	人力掘削	ケーブルの損傷	3	5	15	試掘工にて埋設深の浅かった箇所については掘削作業が完了するまで、埋戻しをせず目視確認出来るようにして	全員	1	5	5			
			土砂運搬時の腰のケガ	4	3	12	二人等、複数人作業による負担の軽減	作業員	2	2	4			
	6	型わく工	型枠の不備によるコンクリートの漏れ	3	3	9	型枠の密着状態の確認	作業員	1	1	1			
		コンクリート打設	締固め不足による豆板等	3	3	9	パイプレーター等による確実な締固め	作業員	1	1	1			
	8	養生	養生不足による早期劣化	2	2	4	適切な養生材(シート、表面保護材等)による養生	作業員	1	1	1			
片付け		片付け												
	1	清掃	清掃不足による土砂等の飛散	3	2	6	離脱前の最終確認を行い、確実な清掃を実施	全員	1	1	1		<p>【セーフティーバイブル】 ・全体編【WH-16】ケーブル防護対策</p>	
	2	車両の離脱	車両荷台の飛散防止措置忘れ	3	5	15	飛散防止ネットの設置、場合によってはロープ掛けも行う	全員	1	1	1			
		車両の離脱	規制離脱時、一般者との接触	2	5	10	基本的には保安員の合図に従うが、運転手が危険と判断した場合はその限りではない	運転手、助手、保安員	1	2	2			